



いなべ市農業公園の「梅まつり」(いなべ市)

平成27年第2回三重県議会定例会 11月定例月会議 伊勢志摩サミット関連事業や「まち・ひと・しごと創生」の推進などについて議論

伊勢志摩サミットの安全かつ円滑な実施に備えた警備、消防救急・保健医療体制の強化や、まち・ひと・しごと創生の推進に伴う平成27年度一般会計補正予算を可決したほか、平成26年度一般会計・特別会計決算を認定しました。(その他の本会議審議の結果については5ページに掲載しています。)

一般質問の主な内容 (2~4ページ)

- ・「チーム学校」の実現に向けて
- ・交通安全の推進による安全・安心のまちづくり
- ・ハローワークの地方移管を
- ・伊勢志摩サミット開催機運の広がりに対する知事の評価は
- ・高校生への主権者教育の充実を
- ・航空宇宙産業の魅力
- ・首都圏でサミットの情報発信を
- ・Uターン就職を促進する取り組みを
- ・三重の観光活性化～東海自然歩道の整備～
- ・木質バイオマス発電と森林整備の推進を
- ・「さいくう平安の杜」の今後の活用
- ・MICE誘致の全県的な取り組みを



みえ現場de県議会
「若者の声を県政に～地方創生と人口減少対策～」
(平成27年11月11日 近畿大学工業高等専門学校)
※詳細は6ページに掲載しています。



第2回三重県議会議員勉強会 (平成27年12月17日)
講師 北村啓司さん (株式会社CAP プロデューサー)
※詳細は7ページに掲載しています。

主な活動内容 (6~7ページ)

- ・地方創生と人口減少対策について若者と意見交換
～みえ現場de県議会～
- ・三重県手話言語に関する条例検討会
- ・「三重県議会 議会活動計画」を策定
- ・平成27年度第2回三重県議会議員勉強会
- ・全国の都道府県議会議員に三重県議会の取り組みを紹介
～第15回都道府県議会議員研究交流大会～

一般質問

詳細は <http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/> をご覧ください。

三重県議会

検索

「チーム学校」の実現に向けて

山内 道明 議員
(公明党／四日市市選出)



答

教員の負担を軽減し、教員が子どもと向き合う時間を確保するため、教員をサポートする専門スタッフを配置して、専門スタッフと教員がチームとして連携し、学校教育の充実に向けて取り組む「チーム学校」について、これまで県が推進してきたコミュニティ・スクールや学校支援地域本部との違いを踏まえつつ、今後の取り組みについて教えてください。



「チーム学校」は、専門スタッフを学校に必要な職と位置付け、教員とチームで学校の課題解決にあたるもので、地域住民等が学校運営に参画するコミュニティ・スクール等との連携が重要となります。「チーム学校」の法令上の位置付けの明確化を国に要望しております。今後も国の動向を注視していくます。

○特殊詐欺から県民の財産を守る対策について ほか

○他の質問事項
○三重県が主体となつて行う獣害対策 ほか

○他の質問事項
○生活困窮者自立支援について ほか

○テロ等不測の事案発生への対策について ほか

交通安全の推進による安全・安心のまちづくり

長田 隆尚 議員
(能動／亀山市選出)



問 平成24年度に実施した通学路の緊急合同点検で

対策が必要とされながら未整備の箇所は、市町単位で策定される「①通学路交通安全プログラム」に引き継がれて対策が行われるのか、また、外側線、停止線、横断歩道等の表示が消えていたり、同プログラムに掲載されたものについては、どのように取り組んでいくのか、お聞きします。



合同点検の様子（鈴鹿市通学路交通安全プログラムより）

答

相談から職業紹介まで一貫した支援が可能となることなどから、国に対し、ハローワークの地方移管を強く求めるところに、地方版ハローワークの創設やハローワーク特区の全国展開などを要望しています。そこで、知事のハローワークの地方移管に対する見解と、地方版ハローワークの設置やハローワーク特区への申請について考え方をお伺いします。

通学路の緊急合同点検で未整備となつている箇所は、対策必要箇所と位置付け、整備に取り組みます。また、通学路交通安全プログラムに基づく対策については、各市町で合同点検や対策の検討を行つてあるところであります。優先順位をつけて計画的に取り組んでいきます。

「チーム学校」の法令上の位置付けの明確化を国に要望しております。今後も国の動向を注視していくます。

○他の質問事項

ハローワークの地方移管を

稻森 稔尚 議員
(草の根運動みえ／伊賀市選出)



問 全国知事会では、就職相談から職業紹介まで一

貫した支援が可能となることなどから、国に対し、ハローワークの地方移管を強く求めるところに、地方版ハローワークの創設やハローワーク特区の全国展開などを要望しています。そこで、知事のハローワークの地方移管に対する見解と、地方版ハローワークの設置やハローワーク特区への申請について考え方をお伺いします。

答

ハローワークの地方移管は必須のものと考へております。そこで、知事の考え方を伺います。

えており、全面移管を実現し、最高水準の雇用労働行政サービスを提供していくことが必要だと考えております。県としては、地方自治体の意向が反映され、条件が整えば、利用者の利便性を最優先に地方版ハローワーク等のしくみの導入を検討していきます。

伊勢志摩サミット開催機運の広がりに対する知事の評価は

濱井 初男 議員
(新政みえ／多気郡選出)



問 6月に伊勢志摩サミットの開催が決定して半年が経ちました。この間、国や他県との調整、市町や関係機関との連携、住民懇話会の開催などに取り組まれていますが、未だに県民のサミットへの参加機運が高まっていないとの指摘もあります。現時点でのサミット開催機運の広がりについての評価と、残り半年の取り組みについて、知事の考え方を伺います。



伊勢志摩サミット
三重県民会議
シンボルマーク

答

重県民会議への支援の申込状況や、シンボルマークの県民投票数などから、開催機運の醸成が進みつつあると一定の手ごたえを感じています。クリーンアップ活動や花いけい、おもてなし運動等を実施することにより、県民参加の動きが大きくなっているよう、準備を加速させていきます。

○他の質問事項

文中の傍線部分については、5ページに用語解説を掲載しています。

「みえ県議会だより」はデータ放送でもご覧になれます。（三重テレビ 7ch+d ボタン）

高校生への 主権者教育の充実を

田中 祐治 議員
(自民党/松阪市選出)



多くの政策課題に直面する社会において適切な選択を行うためには、社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、判断し、行動する高い資質を持つ主権者の育成が求められます。公職選挙法の一部改正により選挙年齢が18歳以上に引き下がられ、高校生に主権者としての素養を身に付けさせる指導の充実が喫緊の課題と考えますが、いかがですか。

答

副教材や教員用指導資料を活用し、模擬選挙やディベート等の実践的な活動を通じて、生徒が課題を多面的・多角的に考え、自分なりの考え方を培うことが大切と考えて、教員を対象とした研修会の開催等により、教員の指導力向上に取り組みます。



○医療・介護提供体制の整備についてほか
○子育てと教育 ほか
○教育の充実について ほか
○その他の質問事項

航空宇宙産業の魅力

稻垣 昭義 議員
(新政みえ/四日市市選出)



日本で最初に飛行機を飛ばした玉井兄弟が四日市市出身で、技術力の高いものづくり企業が多く立地するにもかかわらず、「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」に入つておらず、みえ航空宇宙産業推進協会にも四日市市のものづくり企業の参加が少ない状況です。航空宇

宙産業の振興のため、県と四日市市が一体となつて取り組むべきと考えますが、いかがですか。

答



四日市には航空宇宙産業と親和性の高い自動車などのものづくり産業が集積しており、航空宇宙産業が求められる部品軽量化等の取り組みで実績を持つ企業が多数存在しています。県と四日市が連携して、一社でも多くの企業が航空宇宙産業へ参入できるよう支援していくことを考えていました。

○医療・介護提供体制の整備についてほか
○子育てと教育 ほか
○教育の充実について ほか
○その他の質問事項

首都圏でサミットの情報発信を

山本 教和 議員
(自民党/志摩市選出)



伊勢志摩サミットの情報発信については、大使館や外国メディアの支社がある首都圏での発信が特に重要であり、それがサミット成功の鍵とも言えます。これまで9月の「ツーリズムEXPOジャパン」、10月の外務省飯倉公館でのセミナーとレセプションなど

の場で、サミットの情報発信を行っていますが、その印象や今後の取り組みについて、知事の考え方をお聞かせください。

答

海外の報道関係者等に対しても、三重の魅力やサミットの取り組み状況等を伝えることができた一方、三重



外務省飯倉公館レセプションの様子

○医療・介護提供体制の整備についてほか
○子育てと教育 ほか
○教育の充実について ほか
○その他の質問事項

Uターン就職を促進する取り組みを

日沖 正信 議員
(新政みえ/いなべ市・員弁郡選出)



三重県は③大学収容力が低く、約8割の学生が県外に流出しています。若者の県内定着促進策として、県外へ進学した学生に対するUターン就職の働きかけについて、取り組み状況をお聞かせください。



U・Iターン就職セミナーの様子

○医療・介護提供体制の整備についてほか
○子育てと教育 ほか
○教育の充実について ほか
○その他の質問事項

「ええとこやんかターン」(東京)での就職相談や、関東・関西地域等でのU・Iターン就職セミナーの開催、県外大学への就職セミナーの情報提供や就職相談などに取り組んでいます。大学との就職支援協定についても、有効な手段であると考えており、協定の締結を検討しています。

答

三重移住相談センター(東京)を通じ、三重都圏での情報発信をしつかり予感して、次は実際に三重県に来て、「体感」「実感」していただけるよう引き続き取り組んでいきます。

○医療・介護提供体制の整備についてほか
○子育てと教育 ほか
○教育の充実について ほか
○その他の質問事項

三重の観光活性化 、東海自然歩道の整備、

服部 富男 議員
(自民党／三重郡選出)



東海自然歩道の道標

問 鈴鹿国定公園と室生赤目青山国定公園を繋いでいる三重県内の④東海自然歩道(197km)は、整備されてから40年以上が過ぎましたが、利用者が安全・安心に自然を楽しんでいただくために、今後どのように整備していくつもりですか。

答 県では、昨年度に東海自然歩道も含めた自然公園施設の老朽化等を調査したところであり、その調査結果や関係市町からの要望等を踏まえながら、施設整備を進めていきます。また、安全で快適に利用していただけよう、険しい箇所では新たな迂回ルートを設定する等、関係市町や団体等と工夫していきます。

- 危険予知判断と防災計画
- 他の質問事項

- 一志病院のあるべき姿について
- 大杉谷のエコパーク
- 拡張登録を契機とした地域振興

- 他の質問事項
- 他の質問事項

- 他の質問事項
- 生活困窮者自立支援制度

木質バイオマス発電と 森林整備の推進を

杉本 熊野 議員
(新政みえ／津市選出)



問 県内では、平成28年7月には、現在稼働しているものを含め、3か所の木質バイオマス発電所が稼働する予定ですが、木材の搬出コスト等の課題があり、発電の原料となる木質チップの全てを県内で貯うことは難しく、県外や海外からの調達が見込まれています。木質チップを、できるだけ県内で生産された木材で賄えるようにするための取り組みをお聞かせください。



木材の搬出

答 木質チップは端材などを利用するため、木材需要が減退し、搬出コストが高い現状では、十分な供給量が確保できていない状況です。低成本造林による主伐の促進や、公共建築物への利用促進など、川上から川下までの総合的な取組を進め、県産材の生産拡大と木質チップの安定供給の実現に取り組みます。

「さいくう平安の杜」 の今後の活用

西場 信行 議員
(自民党／多気郡選出)



問 今年10月に日本遺産・国史跡斎宮跡に「⑤さいくう平安の杜」が完成しました。復元建物等の活用について、は、地元明和町とともに、ハウや情報を持った県が積極的に関与する必要があると考えます。多くの見学者が訪れる魅力ある施設としていくために、今後どのように活用していくのか、県の方針をお伺いします。

答 「さいくう平安の杜」を管理する明和町や地元の皆さんとともに、復元建物を利用した小中学校教育や学会・協議会等の大会誘致、イベントの開催、情報発信等に取り組み、皆さんに愛される施設にしていきます。また、伊勢志摩サミット開催の機会をとらえ、積極的に情報発信しています。



斎宮復元建物

MICE誘致の 全県的な取り組みを

三谷 哲央 議員
(新政みえ／桑名市・桑名郡選出)



問 三重県観光振興基本計画最終案によると、伊勢志摩観光コンベンション機構が推進する⑥MICEの積極的誘致を支援するとありますが、官民一体型の推進組織と協力提携し、県をあげてMICE誘致に取り組んで成果を上げた沖縄県のよう、本県においても、地域を限定せず、全県的な取り組みを進める必要があるとを考えますが、いかがですか。



答 三重県内の市町で単独で積極的なMICE誘致に取り組む動きはまだ見られないことから、まずは県が先導して広域的に取り組んでいくこととし、サミット開催地を含む伊勢志摩にとどまらず、ジュニアサミット開催が決定した桑名市をはじめ、北勢地域等広く県内一円を対象にしていきたいと考えています。

- 他の質問事項
- 他の質問事項

用語解説

1 通学路交通安全プログラム

平成25年12月に文部科学省、国土交通省・警察庁の三省庁連名による通知に基づいて、市町ごとに策定した通学路の交通安全の確保に向けた取組の基本の方針のことです。

2 「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」

愛知、岐阜、三重、長野、静岡地域にまたがるこの特区では、研究開発から設計、製造、保守管理までの一貫体制を持つアジア最大・最強の航空宇宙産業クラスターの形成を目指しています。三重県は、区域拡大により平成25年10月11日付で指定を受けています。なお、特区内で実施される設備投資等については、税制上の支援措置（特別償却等）や、金融上の支援措置（利子補給等）を受けることができます。

3 大学収容力

県内高等学校卒業者数のうちの大学進学者数に占める県内大学入学者数の割合のことです。

4 東海自然歩道

昭和49年に完成した、東京都八王子市の「明治の杜高尾国定公園」から大阪府箕面市の「明治の杜箕面国定公園」までを結ぶ全長1,697kmの長距離自然歩道で、三重県内では、いなべ市から菰野町・四日市市・鈴鹿市・亀山市・伊賀市・津市までを結びます。

可決した議案

○平成27年度三重県一般会計予算
○平成27年度三重県一般会計補正予算（第4号）ほか16件

本会議審議の結果

議案の概要、議員別の賛否等の状況などの審議結果や、請願・意見書・陳情の内容は、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

○条例
○三重県行政不服審査会条例案
○ほか11件

○当せん金付証票の発売について
○ほか22件

認定した一般会計・特別会計決算

○平成26年度三重県一般会計歳入歳出決算
○平成26年度三重県県債管理特別会計歳入歳出決算
○平成26年度地方独立行政法人三重県立総合医療センター資金貸付特別会計歳入歳出決算
○平成26年度三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
○平成26年度三重県立小児心療センターアスナロ学園事業特別会計歳入歳出決算
○平成26年度三重県地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算
○平成26年度三重県林業改善資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
○平成26年度三重県沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
○平成26年度三重県中小企業者等支援資金貸付事業等特別会計歳入歳出決算

提出された陳情

可決した意見書

不採択とした請願

採択した請願

○朝明川整備計画の促進住宅地を遊水地にする洪水対策の早期解決の要望について

○平成26年度三重県港湾整備事業特別会計歳入歳出決算
○平成26年度三重県公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算

地方創生と人口減少対策について若者と意見交換 「みえ現場de県議会」

県議会では、多様な県民の意見を県議会での議論に反映させるため、「みえ現場de県議会」を毎年度開催しています。

今年度の1回目は、11月11日に名張市にある近畿大学工業高等専門学校で「若者の声を県政に」地方創生と人口減少対策「」をテーマに開催しました。

当日は、新たに選挙権を得ることとなる若者（近畿大学工業高等専門学校の学生や公募による県立高校の生徒）から、三重県で暮らし、働くことの課題や、地域を元気にするための提案などについて、県議会議員13人が直接ご意見をお聴きしました。



若者の県内定着促進について

まずは三重県の良さを三重県民に知つてもうことが良いのではないか。地域を知ればよいのではなく、就職で三重県に戻つてしまつた。次のような意見がありました。

SNSの拡散性に着目すること。見て楽しい良質なSNSを作ることで、三重県に興味を持つ人が増え、観光業の発展にもつながる。健康やスポーツに関心の高い人が多いので、スポーツ施設を整備し、イベントを増やせばプロモーションになり認知度も高まる。複数の観光地を回る共同観光企画を計画してはどうか。各

三重県にしかない食産物などを全世界に発信することで観光客が増えれば、労働力の需要も増え、若者の県内定着につながるのではないか。魅力的な企業が少ない。企業側から若者へ魅力をもつとPRすることが必要。

公共交通機関の整備や買い物ができる施設の充実が必要。若い世代が働き続けるためには働きやすい職場環境が必要。出産・育児・介護と仕事の両立ができる環境づくりが大切。

大学、専門学校が少ないので学ぶ人を増やす体制を整えること。

そこでしか見られない、食べられない、買えないものなど思つような、忍者をイメージしたテーマパークのような旅館があればと思う。

高校生が地域の人と多く交流できる機会があれば、地域の魅力向上につながるのではないか。

地域住民にも便利な公共交通機関を整備することで、県全体の地域の魅力向上につながる。



次回のみえ現場de県議会

「鳥獣害に強い地域づくり」

場所

日時 平成28年2月5日（金）
14時～16時

参加者
松阪市嬉野ふるさと会館
鳥獣害対策等に関わる方、一般公募の方、県議会議員（正副議長、議会常任委員長、広聴広報会議委員、関係常任委員長）

会議の開催状況（会議の模様は、一部を除き県議会ホームページの「議会中継」からご覧いただけます。）

11月

■4～5日

予算決算常任委員会各分科会
決算認定議案等の審査、所管事項の調査

■11日 予算決算常任委員会
決算認定議案等の審査、所管事項の調査
本会議
議案1件可決

■24日 本会議
決算認定議案13件認定、
議案52件上程
人口減少対策調査特別委員会
今後の委員会の進め方について

■27日 本会議

議案に関する質疑（3人）
予算決算常任委員会各分科会
(総務地域連携、戦略企画雇用経済、環境生活農林水産)

議案の審査
予算決算常任委員会
議案の審査

■30日 本会議

一般質問（6人）、議案1件可決

12月

■2日 本会議
一般質問（4人）
■4日 本会議

一般質問（4人）

■7日 予算決算常任委員会
平成28年度当初予算要求状況の調査

■8日 予算決算常任委員会
平成28年度当初予算要求状況の調査（総括的質疑）

■9～11、14日 各常任委員会・分科会

議案等の審査、所管事項の調査
■17日 予算決算常任委員会
議案の審査
人口減少対策調査特別委員会
人口減少対策に係る当初予算要求状況等について（執行部からの聴取）
■21日 本会議
議案51件可決、請願1件採択・1件不採択、意見書案3件上程・可決

三重県手話言語に関する条例検討会

「みえ県議会だより」はデータ放送でもご覧になります。(三重テレビ 7ch+d ボタン)

手話の普及のための施策の推進に関し、条例の制定に向けた調査及び検討を行うため、昨年10月に全ての会派の議員13人で構成する検討会を設置しました。検討会では、聴覚障がい者に対する県の施策や県立聾学校における手話を活用した教育活動について、県執行部から説明を受けたほか、他県の手話言語条例について調査しました。また、筑波技術大学の大杉豊教授を招いて手話の意義などについて聴取しました。



手話は、聴覚障がいを持つ人々が他人と意思疎通を図つたり情報を得たりする際の重要な手段であり、音声言語と対等な「言語」であつてろう者による歴史的、文化的の産です。



今後も、関係者からの意見聴取や現地調査、パブリックコメントの募集等、条例案提出に向けて慎重・丁寧に議論を重ねていく方針です。
※この検討会では、手話の同時通訳を行っています。

心に検討を重ね、昨年12月の代表者会議で決定しました。今後は、この計画をもとに、より一層充実した議会活動を行うよう努めています。

「三重県議会 議会活動計画」を策定

県議会では、議員任期4年間を見据えた活動を計画的に行つていくため、「三重県議会議会活動計画」を策定しました。計画期間は、現議員の任期と同様、平成27年5月から平成31年4月（平成27年度は試行）です。

計画の内容としては、①総合計画や当初予算等に関する調査・審査や広聴広報活動などの議員任期4年間の主な議会の取り組み、②毎年、常任委員会で行う委員会活動の評価・改善の取り組み、③4年間を通した評価等の次期改選後議会への申し送り等について、まとめたものとなっています。

この計画については、平成25年度から議会改革推進会議を中心とした議会改革を重ね、昨年12月の代表者会議で決定しました。今後は、この計画をもとに、より一層充実した議会活動を行うよう努めています。

平成27年度第2回三重県議会議員勉強会

県議会では、議員の資質向上を図るため、県政を取り巻く諸課題の中から必要なテーマを選定し、外部有識者を招いた「議員勉強会」を開催しています。12月17日には第2回として、株式会社C A Pのプロデューサーである北村啓司氏を講師にお招きし、「多様化する広報媒体と、その特徴を活かした効果的な広報」と題した講演をいたしました。

講演では、情報を入手する受け手側に応じた、紙媒体やネットなどの適切なメディアの組み合わせの必要性や、SNSを活用して情報を効果的に広める方法などについて、貴重なお話をいただきました。



全国の都道府県議会議員を紹介！第15回都道府県議会議員研究交流大会

最初に、「地方分権の流れと地方議会」をテーマとする基調講演があり、その後、テーマ別に5つの分科会に分かれて意見交換を行いました。

講演が第3分科会では、中村進一議長がパネリストとして出席し、予算決算常任委員会における当初予算の調査・審査や、「地方創生に関する政策討論会議」の活動等を例に挙げながら、本県議会の政策提言の取り組み等について説明しました。

○「わたしたちの県議会」
県議会の役割や仕事などについて、わかりやすく紹介します。（約15分）

○「県議会ハイライト」
委員会の構成、県内調査や委員会審議の様子、委員長インタビューなどを紹介します。（約30分・4本、約15分・1本）など

【掲載番組】



三重県議会のホームページには、三重県議会を分かりやすく紹介するビデオ「わたしたちの県議会」や三重県議会提供のテレビ広報番組の録画映像などを掲載しています。

広報番組配信のご案内

伊勢志摩サミットに 向けての取り組み

平成 28 年三重県議会定例会の日程

三重県議会の会期は通年制となっています。 平成 28 年 2 月から 3 月までの日程は次のとおりです。	
2月	4日 代表者会議
12日	議会運営委員会
15日	全員協議会
18日	本会議（議案上程） 、全員協議会 、議案聴取会
19日	議案聴取会、議会運営委員会
25日	本会議（代表質問、質疑） 、 29日 本会議（一般質問） 、 3月 2日 本会議（一般質問） 、 3日 本会議（追加議案上程） 、 4日 本会議（一般質問・追加質疑） 、 7日 予算決算常任委員会総括質疑 、 8～10日、14日 各常任委員会及び分科会 、 17日 予算決算常任委員会 、 18日 代表者会議、議会運営委員会 、 22日 本会議（採決） 、 31日 本会議（追加議案上程、採決）

この日程は、平成 27 年 12 月 22 日現在の予定です。
最新の情報は、ホームページまたはテレビのデータ放送でご確認ください。

TV テレビ中継 インターネット中継

県議会では、伊勢志摩サミットの成功に向けて、全員協議会や常任委員会等において、慎重に審議し、議論を行っています。

また、「伊勢志摩サミット三

重県議会議員協議会」を独自に設置し、12月 22 日に「伊勢志摩サミット議会フォーラム」を開催するなど、サミットの全面的な支援を行っています。

今後もサミットの開催が、伊勢志摩をはじめ県全体の知名度や地域の総合力の向上につながるよう取り組んでいきます。

平成 28 年 4 月から「みえ県議会だより」が次のとおり変わります。

○紙面サイズ

A4 判からタブロイド判（新聞サイズの約 1/2）になります。

○配布方法
新聞折り込み（7紙）でお届けします。公共施設やスーパー・コンビニ等にも「県政だより みえ」と合わせて引

これまで「みえ県議会だより」の情報をお届けしていましたが、今後は、議会日程などをお知らせしていく予定です。

○発行日
年 7 回（4・5・7・8・10・12・2 月）、第 1 日曜日

○データ放送

テレビのデータ放送では、次回タブロイド版の発行は平成 28 年(2016 年)4 月 3 日です。

4月からのみえ県議会だより・データ放送のお知らせ

編集 三重県議会広聴広報会議

座長 中森 博文（副議長）

委員 森野 真治（座長職務代理者）

中瀬古初美	田中 智也	濱井 初男
田中 祐治	野口 正	石田 成生
大久保孝栄	山内 道明	長田 隆尚

問い合わせ窓口

〒514-8570 津市広明町 13
三重県議会事務局企画法務課
☎059(224)2877 ☎059(229)1931
✉gikaik@pref.mie.jp <http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>



この広報紙は、再生紙と、環境にやさしい植物油インキを使用しています。